

**5 高齢者福祉**

▼各地域の老人クラブやゆいっこハウスの自主運営に対する支援の拡大。▼声を出し、運動することにより身体機能や嚥下機能を高めながら鍛えることができる「スポーツボイス講座」を導入。▼次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を進める。

**6 認知症対策**

▼徘徊SOSネットワーク事業のほか、地域見守りネットワークの協力事業所の拡大。▼認知症サポーター等の養成。

**7 地域福祉**

▼「自助」「共助」「公助」による地域ごとの課題解決に努める。▼「避難行動要支援者登録台帳」の充実に向けて取り組む。

**基本目標3 産業**

**1 農業**

▼ドローン免許取得経費の助成やアシストスーツのリース等のスマート農業の推進。▼基盤整備事業については、大森・鳥の海上地区の支援継続、原・蟹沢地区の確実な採択に向けた支援。▼多面的機能支払交付金の広域化組織の設立を支援。▼園芸作物の更なる推

進を図るため、資材等の初期投資経費の一部支援や産地交付金の重点単価設定、農業技術指導員による栽培技術指導などを実施。▼「畜産クラスター」の取組を推進し、生産コストの低減や生産物の高付加価値化を促進。▼肉用牛繁殖センターを最大限活用し、農家の負担軽減と飼養頭数の増加を促進。

▼町産業開発公社に、ふるさと応援寄附返礼品の取扱業務を委託することを視野に、ふるさと応援寄附額の拡大と産業開発公社の自立の支援。

**2 工業**

▼立地企業の円滑な事業展開を支援。▼自動車関連産業を中心とした積極的な企業誘致活動に取り組む。▼県が構想する「北上川バレープロジェクト」等と連携し、IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、水素関連ビジネス分野の誘致活動を展開。

**3 商業**

▼キャッシュレス決済システムの導入のほか、新たに開始が予定されている「マイナポイント」によるポイント還元制度による消費活性化への対応を商工会とともに支援。▼個々の店舗、個性ある魅力商品の情報発信など商工会事業の支援。▼空き店舗活用補助事業、

創業塾の開催などによる創業支援。▼創立50周年を迎える商工会青年部及び女性部が実施する記念事業などの商工会の組織強化・活性化に繋がる取組を支援。

**4 観光**

▼外国人観光客の誘客に努め、インバウンド向け観光PR動画のユーチューブでの配信やデジタル広告の配信、首都圏での商談会開催を通じたプロモーション活動を展開。▼町内の文化財を観光資源として活用することを念頭に情報発信。▼城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区の侍住宅などにWi-Fi（ワイファイ）を整備。▼東北デスティネーションキャンペーンを観光客増加の好機と捉え宿泊を伴う観光プランを企画しPRを図る。

**基本目標4 教育文化**

**1 学校教育**

▼幼児教育については、南方幼稚園を幼稚園型認定こども園として開園し、給食の提供や2号認定児に対する土曜保育の実施等により保育の充実を図る。▼各幼稚園での適正な園児数の確保に努めつつ、園児数の将来予測に基づく統廃合の検討。▼就学前児童に対する業務の窓口を一元化し、利用者

の利便性の向上を図る。▼義務教育については、キャリア教育、ICT教育の充実を図るとともに、コミュニティ・スクールを継続。

▼集団不応や不登校などの問題を抱える児童生徒や特別な支援を必要とする園児、児童生徒を支援するため、新たに家庭教育支援チーム事業を導入。▼特別支援員の継続的な配置等により、教育相談や家庭訪問の体制充実、関係機関との連携強化、指導の充実に努める。▼英語教育については、幼稚園・保育園から中学校へとつながりをもったカリキュラムを編成し、幼少期からコミュニケーション活動を大切に英語に触れる機会を確保。▼英語教育が必修化となる小学校を中心として、英語感覚の育成と英語に関する興味・関心の喚起を図る。▼ふるさと教育については、自分が生まれ育った地域へ愛着や誇りを持てるよう学習機会の確保に努める。

**2 生涯教育**

▼「人づくり」を実践していくため、生活習慣の確立や世代間交流等の体験活動を提供。▼子育てや社会活動、地域課題解決に係る学習機会の提供など成人期の生涯教育の推進。▼豊富な技術や知識を地域社会に還元できる環境づくり

や資産の有効活用に関する講座の実施など高齢期の生涯教育の推進。▼創作活動や発表機会の提供など、芸術文化活動の支援。▼生涯教育センターの「公民館機能の充実」と「生涯教育推進体制の整備」を図り、地域や町民の生活上の課題を解決するための事業を実施。

**3 生涯スポーツ**

▼スポーツ推進委員が中心となり、全世代が一緒に楽しめるニュースポーツの普及活動を実施。▼出前講座など、各地域に向いて生涯スポーツ事業を展開。▼各種スポーツ大会を継続して実施していくとともに、5年に1度実施される町民運動会に取り組み。▼スポーツ合宿誘致促進事業補助金制度を継続し、スポーツ合宿などを行う団体の招致に努め、町民とのスポーツを通じた交流事業に取り組み。▼スポーツ関係団体に対する支援を継続し、競技力向上を目指す指導者の人材育成に取り組む。▼岩手大学との事業連携により、スポーツをテーマとした地域連携事業を実施。

**4 読書活動**

▼「地域の活力を応援する」「親子と若者に愛される」「心地よく交流する」を重点テーマに、町民

にとつての「知をつなぐ広場」を目指し、特色ある企画展等を実施。

**5 文化財**

▼国指定史跡の鳥海柵跡は、散策路や便益施設の実施設計を行いつつ、史跡の更なる周知や知名度向上を図り、保存管理及び大林城跡や金ヶ崎城跡等の史跡と一体となった活用を継続して推進。▼国選定の城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区は、伝統的建造物の修理を行うとともに、金ヶ崎要害歴史館を活用しながら、県内唯一の重要伝統的建造物群保存地区として交流を進める。▼国登録有形文化財の旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎及び千田正記念館は、公開活用を推進するとともに、六原支部官舎の活用へ向けた第二棟の修理を行う。▼郷土芸能については、各保存団体の状況を踏まえ支援方針を検討するとともに、定住自立圏の構成市町が連携した郷土芸能発表大会に参画し、郷土芸能の振興を進める。

**6 国際理解**

▼中国長春市保健体育公式訪問団などの受け入れを実施。▼多文化共生指針の策定を進める。▼ILC（国際リニアコライダー）については、国の動向を見ながら取組を継続。